

仕事や活動をおして 「生きがいを感じるまちづくり」

産業の振興によって雇用拡大をはかり、各々がやりがいのある仕事や活動の場を持てて、機能的で効率的な都市基盤の整備を目指します。



中小企業 HAPPINESS KUMAMOTO

仕事や活動をおして
「生きがいを感じるまちづくり」



肥後こまの製作風景

本市の中小企業は、全事業所の約99%、従業員で80%以上を占めており、本市地域経済の活性化を図る上で中小企業の振興は重要な課題であります。

しかしながら、情報化・国際化の進展、規制緩和等を背景に中小企業を取り巻く環境は産業構造の変化という大きな変革の時期を迎えています。

このため、経営基盤の弱い中小企業の経営力の強化、人材の育成、マーケティング機能の強化、さらには技術開発力の向上などの支援策が必要となっています。

そこで本市では、中小企業が創意と活力を持って企業活動に取り組めるよう①経営の高度化支援、②リーディング産業の創造と再構築、③新分野開拓への支援、④人材の確保・育成、⑤産業基盤の整備促進、⑥資金調達円滑化という6つの重点施策にそって各種事業を積極的に展開しています。



魅力ある商店街

HAPPINESS KUMAMOTO

仕事や活動をおして
「生きがいを感じるまちづくり」

中心商業地の振興

本市の上通・下通・新市街等の中心商業地域は「熊本の顔」となる繁華街であり、県内最大の広域商業拠点でもあります。今、多くの市場が成熟期を迎えているといわれていますが、市民のニーズもモノの豊かさから、心の豊かさへと変化してきました。これにともない商店街等にたいしてもアメニティ性の高い環境の整備や快適な生活空間の創出等の機

能が要求されてきています。そこで関係機関や地元商店街と連携をとりながら、商店街の街路灯やカラー舗装等の共同施設の設置に対する助成を行い、商業環境の整備を推進しています。また、中心商業地のさらなる発展と関連産業の振興を目的としたファッションタウン構想の推進に

も積極的に取り組み、商店街の魅力の向上を目指しています。

近隣商店街の振興

地区・近隣商店街は市民の日常生活に欠かせないものであり、地域コミュニティの核となる場でもあります。

また地域特性を活かしたまちづく

りという観点からも、地区・近隣商店街の果たす役割は非常に大きいといえます。

そこで、商店街活性化のためのイベント開催補助等、ソフト事業に対する積極的な支援を行うとともに、健軍文化ホール、五福地域開発センター、くまもと工芸会館等、地域社会の交流・情報発信の拠点施設を整備し、地域経済の振興に取り組んでいます。



上通商店街



工業

HAPPINESS KUMAMOTO

仕事や活動をおして
「生きがいを感じるまちづくり」

本市の工業は、その多くが中小企業であり、食品工業を中心に出版・印刷、金属製品、衣服、家具等都市生活と関連の深い工業が大きなウエイトを占めています。

したがって、この中小企業の活躍が地域経済の活性化を図るうえで重要な役割を担っています。

そこで、中小企業の振興を支援し、活力ある産業活動の展開を図るため

次の施策を推進しています。

1. 経営力の強化

経営資源に限りのある中小工業を支援するため、地域のマーケティング情報・各種データベース情報の提供、経営相談・診断指導、経営セミナー等を実施しています。

また中小企業の共同化を推進するため、業界との共催事業、設備近代化及び組織化高度化事業に対して支

援をしています。

2. 地場リーディング工業の振興

本市において集積が高く他の産業との強い関連をもつ食品、出版・印刷産業を地場リーディング産業と位置づけ、発展育成を図るため業界別の研究会等を開催しています。

また、中小工業の振興には地場の優れた製品を愛用してもらうことが重要であり、市民及び関係業界の方

々に展示紹介をするフェアの開催や物産の振興事業等を実施しています。

3. 工業立地環境の整備

活力ある生産基盤の整備を目指して、周囲の環境と調和した開放的な食品工業団地「フードバル熊本」が昨年11月にオープンしました。

今後も企業誘致に努め、工業立地環境の整備を進めます。



菓子工場（フードバル熊本）



流通・情報拠点

HAPPINESS KUMAMOTO

仕事や活動をおして
「生きがいを感じるまちづくり」

熊本流通業務団地

本市の卸売業、運輸業、倉庫業等の広域流通拠点施設として整備を進めていた流通業務団地は、平成4年9月に流通業務施設の建設が全て完了し、地域経済の活性化に大きな役割を果たすことが期待されています。

また、団地内には流通情報の発信拠点となる熊本市流通情報会館が平成元年4月にオープンし、経営研修

等を通して企業経営の近代化、合理化を支援しています。

さらに、昭和62年に設立された第三セクターである㈱熊本流通情報センターの事業等により、中小企業の情報化を積極的に支援しています。

熊本流通情報センター

熊本市は、昭和59年に通産省のニューメディア・コミュニティ構想のモデル地域に指定されました。

この構想は、大都市圏と地方の情報格差を是正し、全国的にバランスのとれた情報化や地域のニーズに対応した情報システムの構築と普及を目的としています。

そこで、この構想を推進するため国・県・市・地元経済界等の出資により第三セクターとして㈱熊本流通情報センターが昭和62年に設立されました。

この熊本流通情報センターは、地元の卸・小売業を中心に「広域流通ネットワークシステム」の構築を推進しています。

現在、小売業と卸売業の間を結ぶ受発注オンラインシステムを中心に流通関連のシステム開発などの事業を展開しています。



流通業務団地

ゆとりある勤労者生活を応援します

本市の雇用福祉対策は、人材の確保・定着、勤労者の技能技術の向上、福利厚生充実を主な事業として、勤労者の皆さんが豊かなライフワークを送ることができるような職場づくりのお手伝いをしています。

(人材の確保・定着)

若年労働者の確保・定着を図るため、近隣町・商工団体・企業とともに熊本雇用対策協議会を組織する一方、熊本市産業開発求人对策協議会等民間団体とともに人材の確保に努めています。

また、中高年齢者雇用対策としては、熊本中高年齢労働者福祉センター（サンライフ熊本）や熊本市役所に相談窓口を設置しています。

(技能・技術の向上)

本市産業の発展を担う若年技能者・技術者等の人材育成機関として熊本市職業訓練センター、熊本職業訓練短期大学校、熊本市事業内高等職業訓練校の運営を支援しています。

(勤労者福祉の向上)

施設面では、勤労者の健康増進と文化・教養の向上を目的として設置された中央、北部勤労青少年ホーム、勤労婦人センター、熊本中高年齢労働者福祉センター（サンライフ熊本）、熊本勤労者体育センターがあり有効利用を図っています。

制度面では、熊本市中小企業勤労



雇用福祉

HAPPINESS KUMAMOTO

仕事や活動をおして
「生きがいを感じるまちづくり」



パソコン教室

者福祉共済制度を設け、勤労者の福利厚生のために各種の事業を行っています。

中小企業のための
ふれあうきょうさい
熊本市中小企業勤労者福祉共済
あなたの会社の福利厚生を熊本市があと押しします。

この共済に加入されると、わずかな掛金
(1人1月300円)で…従業員の皆さんに…
福利 自分の時間を積極的に活用して
楽しい思い出を

それぞれの季節…ツア―旅行
に安い費用で参加できます
職場対抗…スポーツ大会
で汗を流して親睦を

今の世の中…文化教養講座
を軽い気持ちで
夏には…海・山の家が利用できます
いろんな…割引があります
いろんな…補助もあります

給付 お祝い、
お見舞いとして
満20歳に達したとき…成人祝金
結婚したとき…結婚祝金
出産したとき…出産祝金
子供さんが小学校に入学したとき…入学祝金
子供さんが中学校を卒業したとき…卒業祝金
結婚式を迎えたとき…結婚25年祝金
病気やケガで30日以上欠勤したとき…傷病見舞金
共済加入期間が5年を超えたとき…永年褒賞金
共済加入期間が10年を超えたとき…永年褒賞金
本人が死亡したとき…死亡弔慰金
配偶者が死亡したとき…死亡弔慰金
親等血族が死亡したとき…死亡弔慰金

貸付 不時の出費が
必要なときに



観光・コンベンション

HAPPINESS KUMAMOTO

仕事や活動をおして
「生きがいを感じるまちづくり」

本市は、肥後54万石の城下町としての長い歴史と伝統ある文化のもと、熊本城や水前寺成趣園など優れた観光資源を有するとともに、「国際観光モデル地区」に指定され、九州国際観光ルートの要衝として、年間400万人を越える観光客が訪れる国際色豊かな都市です。

近年、自由時間の増大や生活意識の変化により、余暇活動に対する需要が高まるとともに、観光ニーズも多様化、個性化しており、新たな観光ニーズに対応した観光都市としての魅力向上に努めています。

また、「国際会議観光都市」の認定を機に、地域経済の活性化に大きな効果を及ぼすコンベンション都市づくりにも積極的に取り組んでいます。
豊かな観光資源

豊かな水と緑に恵まれ歴史に彩られた本市には、日本三名城のひとつに数えられる「熊本城」をはじめ、江戸時代の貴重な上級武家屋敷を移築・復元した「旧細川刑部邸」、清冽な地下水の湧く桃山式回遊庭園「水前寺成趣園」、細川ガラシャの眠る「立田自然公園」、剣聖宮本武蔵が兵法五輪の書を著した「霊巖洞」（五百羅漢）などの多くの歴史遺産があります。また、夏目漱石、小泉八雲、徳富蘇峰・蘆花の足跡などの文学的遺産も数多く残されています。さらに、豊かな自然と歴史・文化が残る金峰山一帯など多くの観光資源に恵まれ

ています。さらには11月13日に「食」をテーマにした食品工業団地「フードバルくまもと」がオープンし、新たな観光スポットとして期待がかかります。

観光シンボルゾーンの整備

熊本城を中心としたシンボルゾーンでは、長堀通りの景観整備、熊本城周遊バスの運行、景観にあわせた標識の整備、城内を5ヵ国語で案内する国際観光案内システム「武者ガイドくん」の導入などを行っています。また、ソフト面では城内をきめ細かく案内するレディースガイドの導入など本市を代表する観光地としての整備を進めています。

広域観光ルート

九州観光の一体的振興・発展を図るため、九州の主要都市と連携し国内及び海外からの観光客誘致に努めています。「九州横断ルート」、「九州縦断ルート」などの広域観光ルー

トを通じて、九州観光モデルコースや本市の魅力を国の内外にPRしています。

観光人づくり

観光関連産業に従事する経営者から第一線で活躍する社員まで、ホテル・旅館・タクシーなど、各業界ごとに経営問題・人材育成・接客接遇等について研修し、受入体制や顧客意識のより一層の充実を推進しています。

国際観光の振興

外国人観光客の誘致及び受入体制の整備充実を図るため、東南アジア諸国での観光展参加をはじめ海外向けポスターやパンフレットの製作、来熊外国人への観光案内所や英文併記の案内板の設置、5ヵ国語対応の熊本城国際観光案内システム「武者ガイドくん」の導入など、世界に開かれた国際交流都市づくりを進めています。



本妙寺



立田自然公園（仰松軒）

熊本城



昨の茶屋公園



旧細川刑部邸



水前寺成趣園



熊本市動植物園

コンベンションの振興

本市では、コンベンション誘致の実効を図るため、平成3年11月に市・県・民間企業団体からの出捐をあおぎ財政基盤の充実した、財団法人

熊本国際コンベンション協会を設立し、国内外の各種学会・大会等の誘致支援事業等に取り組み、コンベンションの準備・企画段階から運営までの相談に応じています。支援体制

では、特にコンベンションボランティアを活用した市民ホスピタリティの充実に力を入れています。

本市でのコンベンションの開催件数は、毎年300件を越え、中でも国

際的な会議・大会は近年著しい伸びを示しています。平成11年の「くまもと未来国体」をはじめとする大規模な大会や多数の国際会議、全国大会等が熊本で開催されます。



熊本城再発見!!

過去・現在・そして未来へ

——くまもとお城まつり——

時代行列

熊本城笹園を中心に「第二回くまもとお城まつり」が、10月18日から11月3日まで開催され、最終日には熊本城築城から今日に至るまでの歴史を再現した時代行列を行い、まつりのフィナーレを飾りました。

行列には418人の市民ボランティアが参加され加藤清正・細川重賢・横井小楠・佐々友房など熊本ゆかりの人物をはじめ甲冑武者や大名の行列・明治の群像・西南の役の官軍薩軍などにふんし、お姫様を乗せた山車や大名駕籠を率い、サンロード新市街から下通アーケード街を練り歩く一大時代絵巻を繰り広げました。

また、夏目漱石・小泉八雲・西郷隆盛などのそっくりさんも登場し、沿道を埋めた多くの観客を魅了しました。



燃えるくまもと

火の国まつり

HINOKUNI FESTIVAL

8月11日から13日までの3日間、暑い熊本の真夏を一層熱く燃えさせた“火の国まつり”。

まつりのハイライトは、なんといっても12日の「おてもやん総おどり」おなじみのメロディーのおてもやんと激しいサンバおてもやんのリズムが街中に響きわたり、真夏の夜の熱気を盛りあげます。フィナーレの花火大会までたのしい催しがいっぱいです。

県外の観光客や外国人、九州各市からのおどり隊も参加する今や国際色豊かな市民総参加の夏まつりです。



農林水産業

HAPPINESS KUMAMOTO

仕事や活動をおして
「生きがいを感じるまちづくり」



のりの採摘



乳牛の搾乳

本市の農林水産業は、全国的に有数の産地であるスイカ・メロン・なすなどの野菜、米をはじめとし、みかん・梨などの果樹、花き、畜産などの豊富な基幹作目を有した多種多様な農業と有明海沿岸におけるノリ、魚介類等の海産物に加え、地下水を利用した錦鯉等の水産業からなっています。

いずれも都市近郊という立地的優位性、地域性を活かし、農業においては、市街化区域内、北部水田・畑作、北西部中山間、南・西部水田、南・東部水田、東部畑作地帯に区分され特色ある経営が行われ、農業粗生産額は、全国有数の地位を保っています。

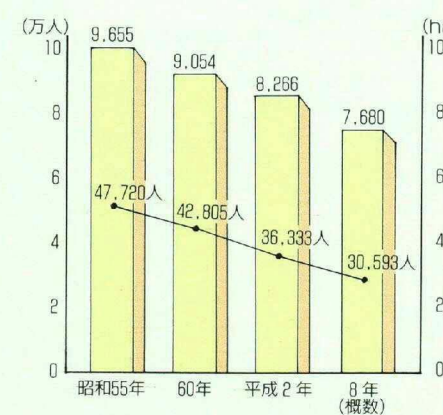
しかしながら、農業は、ガット・ウルグアイ・ラウンド農業合意後の

急速な国際化の進展や新食糧法における米をめぐる諸情勢の変化など、大きな転換期を迎えています。

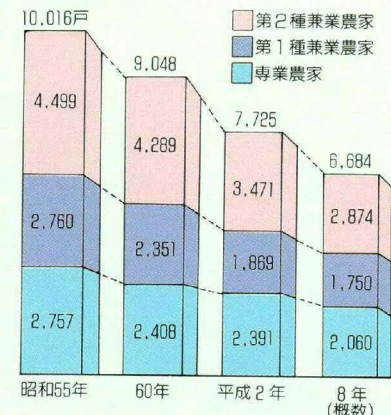
また、水産業は、漁場環境の変化や漁業者の減少、高齢化、価格の低迷などの問題を抱えています。

このような中で、平成17年を目標にした「熊本市農業振興計画」に基づき長期的な展望に立った経営の自立安定と国際化社会に対応できる生産性・収益性の高い農・漁業の実現に向け、土地基盤や漁港・漁場の整備、更に意欲のある担い手の育成や生産組織の育成のための各種支援システムの整備、流通販売方法・産地体制の確立、生活環境の整備など、新たな時代に対応した市民と共存できる魅力ある都市農業と水産業の構築を図っています。

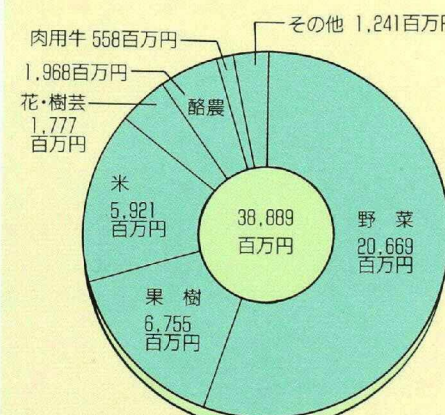
■農家人口と経営耕地面積の推移



■農家戸数の推移



■農業生産額(平成8年度)



■漁業生産額(平成8年度)

